

10月20日に天満研修センターにて、集中ケア認定看護師会教育セミナーが開催されました。テーマは「重症患者の栄養管理」ということで、名古屋大学の松田直之先生、市立岸和田市民病院の亀井有子先生、都立広尾病院の葛西妙子先生、那覇市立病院の清水孝宏先生にそれぞれご講演をいただきました。

松田先生からは「過大侵襲時における生体反応および栄養管理の必要性」というテーマで侵襲時の生体反応とアミノ酸投与の重要性、急性期栄養ガイドラインの説明や経腸栄養の重要性などについて講演していただきました。

亀井先生からは「重症患者の栄養アセスメントと看護ケア」というテーマで栄養評価の方法や、栄養状態の時間的変化を見ることの重要性など看護の視点で講演をしていただきました。

葛西先生と清水先生には「栄養障害患者への栄養改善に向けた活動の実際」というテーマで、認定看護師として栄養障害患者に対してのベッドサイドでの栄養改善に向けた関わり、またNST専従看護師としてチームとして重症患者の栄養管理の実際について講演いただきました。

どの内容についても知識の習得や再確認を行ううえで大変有用なもので、参加者のセミナーに対する満足度も非常に高いものでした。

今回は自施設での活動もある中でお忙しい中、講義を引き受けてくださいました講師の先生方には御礼申し上げます。

来年度も、今回研修後のアンケートで頂きました意見も含めまして、認定看護師のニーズに沿った魅力ある研修会を計画していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

今回177名と多数のご参加いただきましてどうもありがとうございました。

集中ケア認定看護師会  
副会長 有田孝